

日本自動車部品工業会 オープンノベーション研究会の活動紹介

日本自動車部品工業会 Japan Auto Parts Industries Association



日本自動車部品工業会 オープンノベーション研究会（OI研）について

日本自動車部品工業会は、自動車産業のサプライチェーンを支える自動車部品サプライヤー437社から構成される業界団体です。電動化などCASE革命を契機とした大変革期に対応するため、様々な課題に取り組んでいます。一環として、オープンノベーション（OI）の活用支援のためOI研を発足しました。『外部パートナーとの共創を通じて新たなビジネスチャンスを生み出し、業界全体の成長を促進』して参ります。

OI研活動の背景・意義・めざす姿・活動内容

CASE革命に伴い既存事業が縮小する中、生き残りをかけた事業転換が求められますが、これまでの自動車業界の自前主義では十分に対応できません。

JMS2023を仲間作りの機会と捉え、OI活用支援を開始しました。しかし、課題「一歩前に踏み出せない」を認識しました。

そこで、外部との共創を通じた新たなビジネスチャンスの創出、サプライチェーンの強靱化をめざし、OI活用経験をもつ8社が中心となり、

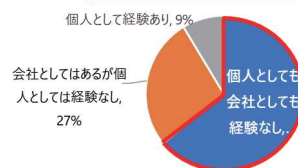
- ① 経営層の意識改革
- ② 良質な出会い
- ③ 関係構築の支援

に重点をおき、課題解決に取り組んでいます。

【JMS見学ツアー参加者※アンケート】

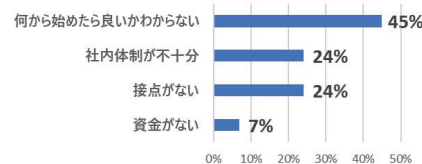
※自動車部品事業会社

スタートアップと連携した経験は？

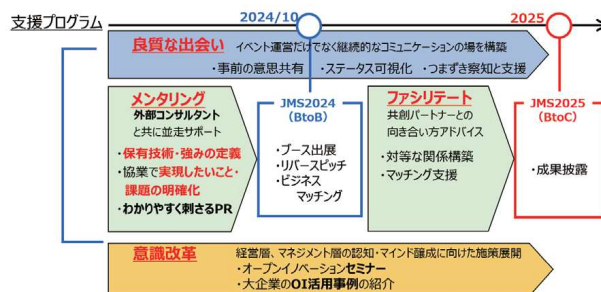


スタートアップ活用・連携の経験がない会社が過半数

今後、スタートアップとの連携において困りそうなこと、または既に困っていることは？（複数回答）



【主な取組み：中堅10社を対象に一気に通貫支援プログラム】



OI研からのメッセージ

- **スタートアップ/異業種の皆様**：皆様の革新的技術・サービスと自動車部品業界のモノづくり技術・アセットを融合して共創し、明るい未来と新価値を創造していきましょう！
- **自動車部品業界の皆様**：JMSの機会を活用し、仲間作りのため一歩前に踏み出し、新たなビジネスチャンスや可能性を追求しましょう！